

確定申告書は、e-Taxで便利に作成できます

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」では、画面の案内に沿って金額等を入力するだけで、申告書や青色申告決算書・収支内訳書の作成・e-Taxによる送信ができます。

また、令和7年1月から**所得税のすべての画面および消費税の「簡易課税」と「2割特例」の画面がスマホでも操作しやすくなる**ほか、**贈与税もスマホで申告できるようになる**など、スマホ申告がますます便利になっています。

※1 e-Taxのご利用には、マイナンバーカードおよび以下の2つのパスワードが必要です。

- ① 署名用電子証明書のパスワード（英数字6～16文字）
- ② 利用者証明用電子証明書のパスワード（数字4桁）

※2 マイナンバーカードを取得されていない方は、お早めにマイナンバーカードの取得をお願いします。



●問い合わせ
今治税務署 ☎0898-32-6100（代）

若年者対象「合同企業説明会」のご案内

1.日 時 12月11日（水）13:30～17:00
（受付開始13:00～）

2.場 所 松山市総合コミュニティセンター
企画展示ホール1F

3.内 容 参加企業（25社予定）は、若年者採用予定のある企業が参加。参加企業は決定次第、「わくわくワーク愛媛ホームページ」に掲載いたします。

4.対 象 愛媛県内の企業への就職を希望する次の県外・県内在住者

- (1) 愛媛県内の企業へ就職を希望する大学生、高校生、専門学生等含む概ね35歳未満の若年者
- (2) 上記の保護者（※見学を可能とします。）

5.その他 参加無料・予約不要・服装自由・履歴書不要

●問い合わせ
若年者地域連携事業事務局（愛媛労働局委託事業）
＜受託企業＞

株式会社 東京リーガルマインド
松山支社 ☎070-1746-5333

✉ehime-jakunen@lec-jp.com



愛 work Challenge！
『シゴト発見フェス～就活の軸が見つかる～』

ブースツアーや企業データなど5つのコンテンツで、自分だけの興味や価値観がわかる！県内50社の企業に触れ「就活の“軸”が見つかる」合同説明会です。

■日 時 令和7年1月5日（日）10:00～15:30

■場 所 愛媛県県民文化会館2階 真珠の間
（松山市道後町2丁目5-1）

■対 象 2026年、2027年、2028年卒業予定の学生および2025年3月卒業予定の学生、既卒3年以内の求職者

■申込み 特設サイトより事前申込み要
【11月25日（月）～1月4日（土）】
<https://www.ai-work.jp/challenge/jobfair/>

■料 金 無料

●問い合わせ ジョブカフェ愛 work
☎089-913-8686 ✉089-913-8685



『“人生100年時代”どう生きるかはあなた次第！
～健康長寿のカギは「お口の健康」～』参加者募集

人生100年時代を豊かに生き抜くためには、健康で過ごせる健康寿命を延ばすことが大切です。健康長寿のカギとなるオーラルフレイル対策について「知って得する情報」が盛りだくさんですので、ぜひご参加ください。

■日 時 12月10日（火）13:00～15:30

■場 所 今治市総合福祉センター
「愛らんど今治」

■参加料 無料

■申込先 12月5日（木）までに
※申込フォームまたは電話で今治保健所健康増進課へ

●問い合わせ
今治保健所
健康増進課 健康づくり推進係
☎0898-23-2500（代）



釣ったふぐの素人調理は
やめましょう!!

ふぐ中毒による事件のほとんどは、家庭における素人調理が原因です。ふぐ毒は、猛毒の青酸カリの約1000倍の力があり、煮たり、焼いたり調理ではなくなりません。また、有効な解毒剤もありません。

ふぐを安心しておいしく食べるために

●家庭での素人調理は、絶対にしないでください。

●釣ったふぐを人にあげるのもやめてください。（最悪の場合、死亡します）

●釣ったふぐの調理は、「ふぐ取扱者」の資格のある方をお願いしてください。また、資格のない人が調理したふぐをもらわないようにしましょう。

●問い合わせ
愛媛県保健福祉部健康衛生局業務衛生課
☎089-912-2395

被災地をいやす彩り草紅葉
被災地をいやす彩り草紅葉
白髪もいのちの色か草紅葉
渡り鳥半球睡眠大移動
吉報や独り居の庭小鳥来る
風にのり老いのコーラス小鳥来る
幸本 郁夫
山元 征子
美濃部 妃苗

多島美の夕焼け空や鳥渡る
良薬に勝る散歩や草紅葉
脱藩の道辿り行く初時雨
過疎の里静もり滞るる初時雨
幸本 孤燈
田名後 簗雨
古林 幹枝
森本 伸子

双葉俳壇一一八一回句集【岩城】

かみじま郷土話 28

宝篋印塔の歴史

上島町に遺る石造物には、五輪塔や宝篋印塔などがあります。どちらも中世の時代に、墓塔や供養塔として造立されました。上島町にある保存状態がよい石造物としては、願成寺の集合墓にある宝篋印塔や、国指定重要文化財に指定されている魚島の亀井八幡神社宝篋印塔があります。

宝篋印塔の起源は、10世紀の中国呉越の国王である銭弘俶が造った銅製の8万4千基の塔（銭弘俶八万四千塔）であるとされています。これらの一部が日本にも伝わり、13世紀頃には、宝篋印塔が日本でも造られるようになりました。

塔の造営については、紀元前3世紀のマウリヤ朝第3代の王であるアショーカ王（阿育王）が、戦争による

侵略行為により多くの人命を奪ったことを後悔し、滅罪のために釈迦の骨を納めた8万4千基の塔（阿育王塔）を造立して国々に配ったといわれています。仏教を篤く信仰していた銭弘俶は、こうしたアショーカ王の行いにならって、同じく8万4千基の塔を造立し、中国の各地に配ったとされています。宝篋印塔という名前の由来については、銭弘俶の塔に納められた「宝篋印陀羅尼」と書かれたお経から、日本では宝篋印塔と呼ばれるようになったようです。

平成28年度から令和2年度にかけて行われた弓削島荘総合調査では、弓削島にあるこうした石造物について、専門家による調査が行われました。令和7年3月に、講師の先生をお招きして、調査の成果などを含

む、中世の石造物に関する講座を開催する予定です。皆さまぜひご参加ください。



▲石造物の専門家による調査風景（願成寺）



生涯学習課
曾根 大地